東日本大震災・原子力災害伝承館

館内語り部講話スケジュール

5月	午前　①10：00～　②11：15～	午後　③13：15～　④14：30～
1 金	震災紙芝居（浪江町）	震災経験とその後の活動（南相馬市）
2 土	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは…（いわき市）【研】	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える（富岡町）【研】
3 日	生きのびるために（双葉町）	原発事故の後で学校・子どもたちに起きたこと（南相馬市） ※13:15～の回は手話通訳が付きます
4 月	伝統文化存続の危機と伝承（双葉町）	震災当日の行動と教訓及び復興事業について（いわき市）
5 火	当時11歳にとっての東日本大震災（富岡町）	あの日を忘れない～私の震災の記憶と教訓～ 「あの時」と思うこと（南相馬市）
6 水	原発から25キロに住む１人として（南相馬市）	震災・原発事故を語る（双葉町）
7 木	東日本大震災と避難生活の実態（浪江町）	福島第一原発事故における病院避難について （東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です）
8 金	震災と私　～その時、私の周りで起きたこと～（双葉町）	役場職員　震災直後の5日間（浪江町）
9 土	震災・避難・現在の歩み（富岡町）	置き去りにされた動物（浪江町）
10 日	ふるさとで暮らす（大熊町）	自分の命を守る（いわき市）
11 月	震災発生から全町避難を振り返って（富岡町）	紙芝居で伝えたいこと（浪江町）
12 火	休　館　日	
13 水	あの日の震災から学んだこと（富岡町）	『残照』～震災の記憶～（相馬市）
14 木	震災経験とその後の活動（南相馬市）	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える（富岡町）
15 金	福島第一原発事故における病院避難について （東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です）	あの日を忘れない～私の震災の記憶と教訓～ 「あの時」と思うこと（南相馬市）
16 土	震災・原発事故を語る（双葉町）	浪江に生きる記憶 ー あの日から始まった「ふるさと」との対話 （浪江町）
17 日	当時11歳にとっての東日本大震災（富岡町）	東日本大震災　娘との日々（富岡町）
18 月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、 相馬の実家、そして大切な家族」（相馬市）	生きのびるために（双葉町）
19 火	休　館　日	
20 水	東日本大震災と避難生活の実態（浪江町）	東日本大震災から考える防災と社会課題（大熊町）
21 木	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！（南相馬市）	「当たり前」はない（大熊町）
22 金	10：00～　震災後の2日間とその後（大熊町） 11：15～　震災・原発事故から復興へ（大熊町）	13：15～　震災後の2日間とその後（大熊町） 14：30～　震災・原発事故から復興へ（大熊町）
23 土	変わりゆくふるさと　それでも前を向いて(双葉町)	原発事故の後で学校・子どもたちに起きたこと（南相馬市）
24 日	原発から25キロに住む１人として（南相馬市）	自分の命を守る（いわき市）
25 月	伝統文化存続の危機と伝承（双葉町）	震災当日の行動と教訓及び復興事業について（いわき市）
26 火	休　館　日	
27 水	東日本大震災から考える防災と社会課題（大熊町）	双葉の子どもたち（双葉町）
28 木	震災経験とその後の活動（南相馬市）	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！（南相馬市）
29 金	あの日から13年間の久之浜町　そしてこれからは…（いわき市）	長い避難生活を支えた励ましの数々（富岡町）
30 土	『残照』～震災の記憶～（相馬市）	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える（富岡町）
31 日	紙芝居『菜の花物語』（南相馬市）	東日本大震災　娘との日々（富岡町）

※タイトル横の（　）内は語り部の震災当時の居住地です。
※5/2（土）～6（水）はGW期間であるため「研修室」を会場とし、座席数を増やして
　開催いたします。（上記【研】がある日）
※スケジュールは2026/4/24現在のものです。
　やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。